八王子市立第三・第四・第十・大和田小学校

放課後の子ども教室　囲碁教室だより

73 号　2022 年 10 月

編集　成田　滋　shigerunarita@gmail.com
ブログ　https://naritas.jp/wp1/
八王子囲碁連盟　https://hachigoren.com

ガーベラ

◆ 10 月の放課後子ども囲碁教室のお知らせ

◆ 第三小学校：10 月 4 日、11 日、18 日、25 日　毎週火曜日 2 時 30 分～　四階 家庭科室
10 月より教室が火曜日に変更となりました。

◆第四小学校：10 月 3 日、17 日　毎週月曜日 2 時 30 分～　三階 ひらめき教室

◆ 第十小学校：10 月 7 日、21 日　金曜日 2 時 30 分　一階 家庭科室

◆ 大和田小学校：10 月 5 日、12 日、19 日、26 日　毎週水曜日 2 時 30 分　二階 図書室

家庭内暴力を受けた子どもの学校

日本では見かけない学校を紹介しましょう。アメリカ西海岸の小学校です。それは、父親から暴力を振るわれた子どもが学ぶ学校です。日本でも家庭内暴力(DV)によって子どもが亡くなる悲しい出来事が報道され心が痛みます。アメリカでもこうした事例は多いのです。

西海岸オレゴン州のポートランド市で教育関係の会議に招待されたときです。ポートランドは札幌との姉妹提携都市です。1900 年代、このあたりには多くの日本人や中国人が入植し、厳しい人種差別を受けながら漁業や林業に従事したところです。

その会議の日程に地元の学校訪問が組まれていました。市内のある小さな学校に行きますと教室に案内されました。そこは家庭内暴力や虐待を受けた子どもが学ぶところでした。すでに子どもは帰ったあとでした。父親の暴力から母親と子どもを守るために DV シェルターという特別の施設があるそうです。その場所は、父親にわからないような配慮がされているとのこと。子どもたちも特別な車で送迎されています。

今も家庭内暴力は白人、黒人の別なく起こっています。地域の人が暴力の疑いがあるという通報をすると警察が調べに入ります。そして子どもを安全のために避難させるのです。児童相談所の仕事ではありません。母親と共に安全に保護された子どもは、学校で学習を続けるのです。

こうした都市の学校は多様なニーズを有する子どもを教育しています。未婚の母親や銃器や麻薬所持で逮捕された高校生のための教室もあります。アリゾナ州のフェニックス市へ視察で同行していた教師達と出掛けたときです。教室に着くと担当者は、保護観察となっている数名の高校生と会話ができる粋な扱いをしてくれました。外国からの訪問者にこうした対応をしてくれることは、閉鎖的な日本の学校ではあり得ないことです。生徒には、できるだけ外部の人との対話の機会を与えているとのことです。

私が生徒に質問したことは、「どんな教科が好きですか？」「将来どんな仕事をしたいですか？」といったことです。大工になりたいという生徒の答えが印象に残りました。